



ひめねずみとガラスのストーブ

あ わ な お こ
安房直子作

ふ り や
降矢なな絵

しょうがくかん
小学館

風の子はみんな、マフラーをして、てぶくろをはめ、ブ
ーツをはいていました。けれど、やっぱりさむいと思う日
があるのです。風の子フーは、ガラスのストーブをかいま
した。それは、炎がみかん色に光り、やわらかいあたたか
さが、体中をふわっとつつんでできました。
森のひめねずみが一匹、ストーブ
にあたりにやってきました。二人は
スープやお茶を作って仲良くなり、
しばらく、いっしょにくらします。
風の子フーとひめねずみの、せつ
なくも、あたたかいお話。

